

9月定例会

9月8日から的一般質問で伊藤永慈、秋元洋子、田中昇議員が登壇し、産地づくりの対策と方針、下水道普及率、町村合併等について、町長らに質問しました。内容は次のとおりです。

伊藤永慈議員

◎平成十六年度以降の産地づくり交付金について対策と方針

「平成十六年度以降転作補助金が産地づくり交付金に変わる今回の改革は、水田農業を取り巻く環境の変化に対応し生産調整を中心とした減反政策から脱却し担い手農業経営者を主役とした消費者・市場重視の政策への転換を図るものであることから農林水産省では米政策改革大綱を打ち出し、需給調整システムを二十年度までに農業者と農業団体が主役となり国と連携して構築するとなっているこのシステムについてどのように考えているか聞きたい。十六年度は本年度並みの転作奨励金のように

が十七年度以降に補助金が減少した場合のように考えているか聞きたい。二十年度までに生産調整は例えば農協などに委ねてしまうということだが町としてもすっきりするまで加わり、また転作奨励金下がった場合に事務的な経費とか援助できないものか聞きたい。」

【答弁】

◆農林課長

「今現在、産地づくり交付金は現行の六万三千円水準となっており需給調整システムは地域水田農業ビジョンを策定中で十月までに大枠でまとめ最終的に三月末までにつくることになっているが、県で十分示されていないので現在は資料づくりをしております。また、次第、農協、転作組合等集めて各農家の意見や要望等を聞きながらこのビジョンに反映させていきたい。十七年度で補助金が減額になるおそれがあるこの部分を担い手対策及び営農組合への作業委託対策が大きなウエイトを占めていることから、これをクリアした場合は現行水準六万三千円を確保できる見通しから農協並びに関係機関と連携をとりながら対策を組んでいきたい。町負担となる事務費については各町村とも国補助金がなければ到底不可能だということから町村会を通して国に強い要望をしている。補助金については十七年度以降ということから合併協議会の中で検討していくことになる。事務費については農協単独でいきなり

ということにはなりきらず町も当然強く係わっていかなければならぬ。」

◎諸手当について

「町財政が大変厳しい状況から従来支給してその後廃止または減額となった職員手当の種類と額、その結果年間どのくらいの節約をしたのか知りたい。管理職手当は十四年度に二%減額しているが、多くの職員は時間外手当もほとんど支給されずサービス残業を強いられているのに管理職が代休まで取っていることから職員の不満等の問題がでてくると思うので管理手当について今後どのような考えを持っているのか聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「経常経費削減ということで近年職員の特殊勤務手当や時間外手当などの削減、また管理職手当を総務課長で七%、各課長五%の協力を得て経常経費の削減に努めていることからできるならあまり下げないで頑張ってみたいが今一度各課長と検討してみたい。また議員手当等について議員の皆さんは冠婚葬祭やいろんな面で大変お金がかかっていることから議長や副議長を始め各会派会長とじっくり煮詰めて皆さんの声を聞きたいと考えている。」

◆総務課長

「諸手当の取り組みは、平成十年度に級別職務分類表見直し、枠

外等級廃止、特殊勤務手当見直しなどの対策を講じて着実に効果を上げています。特殊勤務手当については十年度で十三万五千円、十三年度で五十八万八千円程度を削減している。時間外手当削減については十三年度から段階的に進め三〇%削減で四百一十二千円減、十四年度は五五%削減の四百九十九万三千円減、五年間比較で一千七百万円程度の削減となっている。」

◎朝・夕の時刻のお知らせチャイムについて

「金木町は太宰と津軽三味線発祥の地として全国的に宣伝しているので町のカラーをだし住民意識を高め観光客に宣伝するために朝夕のチャイムを三味線で金木小唄等の曲で流せないか。夏はノーネクタイとラフなスタイルが県各機関で行われていることから町職員等に太宰か三味線をプリントしたポロシャツを着用させ観光アピールに協力できないものか聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「金木町は津軽三味線発祥の地ということから朝夕のチャイムも三味線の音色を流したらすばらしいという気を持っており約四、五十万円程度で設置可能ということから常任委員会等に諮りながら検討したい。ポロシャツについては非常にいいアイデアだと思いますから個人負担千円で町が二千円ずつから検討してみたい。」

秋元洋子議員

◎下水道普及率について

「先般、下水道普及率の新聞報道で北郡の中で金木町だけが一桁の普及率で、また前回のバランスシートでも最低線と報道され非常に残念に思いこれについての見解を聞きたい。下水道整備はその町の文化のパロメーターになるといわれるほど大切な問題から今後合併前に同整備をどこまで進める計画があるのか聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「北郡の中で一番低かったわけでも観光立町を唱えている金木町としても新聞を見ながら赤面しましたが、この要因は一時下水道と住宅建て替えが主要事業として計画にあったが斜陽館の取得と修復、観光物産館と三味線会館やデイサービスセンターの建設で下水道と住宅建て替えが後になり普及率の低い要因と思われる。合併前の下水道計画は金木、喜良市、川倉、嘉瀬、蒔田、神原の六工区に分けておりそろそろ蒔田、神原、沢部が終わることから喜良市地区に取り掛かるため二回ほど説明会を開催したが一人もこなかった経緯と県の汚水処理構想の見直しはつきりし次第でできるだけ合併しても引き続き普及率を高めるよう進めていく。」

◆水道課長

「下水道に関して国土交通省、

農林水産省、総務省などの補助事業がありそれぞれ一長一短で事業費については公表できませんが県において全面的に調査しておりその見直しは近々発表になる予定ですのでであり次第公表したい。」

◎町の若年・中高年の失業対策について

「全国的にも町においても失業率が高いことから町の若年層、中高年の失業パーセントと失業対策を聞きたい。ハローワークに行っても仕事がない若年層を企業誘致とか町独自で使えるような構想はないのか。町で草刈りなどいろいろな部分での雇用を現在雇用している生活に困らない大分高齢な方ではなく五十歳代の仕事がない方を雇用できないものか聞きたい。」

【答弁】

「正確な失業のパーセントは把握していないが平成十二年度の国勢調査の数字から逆算すれば失業率は約一五%と大変厳しい状況での失業対策として緊急雇用対策事業で約十五人を雇用し昨年までは若年者雇用の奨励制度で町内の二業者が若者の雇用促進に努めており今後この事業が継続されるように呼びかけていきたい。若年雇用のためにも誘致企業はのどから手がでるほどほしいが今の経済情勢では特効薬がないのが実情ではないかと考えられる。草刈りなど長年やっている人が要領もよく能率が上がるだろうということで継続しているの多いが名簿を確認し

生活にゆとりがある人でなく本当に困っている人に与えるのがもつともなことだから次からは十分検討しなければいけない。」

◎金木駅舎について

「金木駅舎について隣接していたビデオ屋の営業はあるのか。ない場合あそこを駐車場にできれば非常に幸いだと思うがこの方向で交渉できないか。二階ホールの集会所利用を含む管理委託はどうなっているのか。入札についてこの失業率が厳しいときに地元業者が入らず他町村の業者に請負させたのは本意と感ずるがその考えを聞きたい。」

【答弁】

「ビデオ屋跡地の件は聞くところによると益前に今までの借主と契約を解消し現在は駅舎建設業者の田中建設に貸していることから、先般駐車場として協力していただきたいという要望書を出しておりこれからもそのとおり進めていきたい。入札について当初電気と設備と本体の三つに分けたならば地元業者でやれると思っていたが本体については地元業者ではできなかつたわけで、もし方が一欠陥が出た場合どこで責任取るのか非常に難しいということ、また三つに分けた場合相当以上に諸経費がかかるということから町の顔の駅としてよりよい駅をつくってもらうため実績があり技術ランク上位の優れた業者を指名して選定し

た。」

◆企画観光課長

「駅舎二階ホール部分について一階のエントランス部分とトイレの管理も一緒に南新町町内会に管理委託する方向で現在管理条件等について折衝中で決まり次第常任委員会と協議できれば町内会と契約したいと考えている。」

◎金木病院前の小泊線バス停について

「金木病院前の小泊方面へのバス利用者は雨が降れば道路を横断して向かい側の調剤薬局の軒下に避難しバスが来ればまた道路を横断して乗らなければいけないというところで利用している患者さんの要望から建具屋横の空地に雨を防げるバス停の建物をつくっていただきたい。」

【答弁】

「金木病院のバス停について事務長代理に聞いたところお金をかけないでバスを病院敷地に入れる方法が一番良いということでバスを入れてみたが狭くて回れなかつた経緯からバス利用者数を再度確認し必要ならば検討し年内にもできるだけ期待に添うバス停を設けてみたい。」

田中 昇議員

◎合併について

「金木町として合併に対して広域的な事業がどのような形になるのか、例えば消防組合またゴミヤ

病院の問題などの取り組みを聞きたい。合併前に金木町としてこれだけはやっておかなければならぬ事業があれば聞きたい。合併してしまっても交流には時間がかかることから合併前に二町二村との交流のないイベントやセレモニーを考えていないのか聞きたい。」

【答弁】

「合併後の広域事務について、病院の不良債権などすべて四町村で賄い、消防は例えば中里と金木の中間点に一つと市浦と小泊は一つにするという検討に入っている。ごみは五所川原を中心とした西北五でもやっているが例えば単独で行く場合には今よりも五所川原の持ち出し分の多い分だけ四町村で賄わなければいけないのではと懸念している。合併に伴う閉町式とか記念雑誌の発刊など考えておりこれに向けた来年度予算を組んでいきたい。また本庁舎として使用する金木町役場を他町村にも余り心を痛めないようにできるだけ金木町の職員が入れるような庁舎整備を進めていきたい。合併する前には何かセレモニーは当然必要だと考えているので指導を仰ぎたい。」

【答弁】

「町には今年もかなりの人数の観光客が訪れているがこれをどのように農業や産業に生かそうと思っているのか聞きたい。斜陽館、三味線会館、民俗資料館等の見学

◎観光・農業・産業について

「町には今年もかなりの人数の観光客が訪れているがこれをどのように農業や産業に生かそうと思っているのか聞きたい。斜陽館、三味線会館、民俗資料館等の見学

者の延べ人数とその伸び率が知りたい。民俗資料館が活用されていないのは行っても町の歴史や説明もできる人がいないことからシルバー人材センターなどに説明できる人を委託する考えはないか。観光施設としてオートキャンプ場のキャンプ個所を広げ電気関係等を整備しきちんとした管理体制で行う考えはないか。」「冷害対策本部設置はいつどのような形で行い内容はどうなっているのか。冷害には米だけではなく野菜と果実も含まれるのか知りたい。花栽培について金木特産の花にするという研究があるのか知りたい。また今ある花でなく金木だけの花を研究したらどうか。」

【答弁】

「町には十万人を超える観光客が来ている割に農業とか産業に十分生かされていない実情から農協との連絡を密にし野菜売り場設置を今一度検討してみたい。民俗資料館で昔からのいきさつなど説明できる方がいれば行く人もいいと思いますので検討してみます。オートキャンプ場整備については景観がすばらしいことから常任委員会等に相談しながら検討してみます。」「冷害について本議会が始まる前に冷害対策本部を設置した。花の研究は充足して間もない金木町花卉研究会ですので専門分野から情報を聞くなど力をつける体制が必要なことから現状維持かよりよい上級の指導を受けるか研究会と再

度検討してみる。」

◆企画観光課長

「津軽三味線会館の入館者数は平成十二年度三万四千七百二十五人、十三年度五万三千八百六十七人で五五・一％の増です。十四年度六万二千三百八十九人で一五・八％の増、十五年度は八月末現在三万九千二百二十五人で対前年同月比が一七・五％の増となっています。」

◆教育次長

「太宰治記念館の入館者及び伸び率は十五年度の八月末現在で六万七千七百七十九人で前年度より一千五百四十四人増え二・三％ほど伸びている。」

◆農林課長

「冷害対策本部の委員は町長、助役、議長、産業建設常任委員長、農業委員会会長に、津軽北部農協、小田川土地改良区、北地方農林事務所、農業改良普及センター、東北農政極東系情報センター、青森農政事務所五所川原第三課、津軽広域共済組合、農業振興審議会等を構成メンバーとして主な活動は会議の開催と現況調査、要望・陳情活動の実施、営農指導及び助言をやっていききたい。米以外の冷害の作物として今のところ非常にさや数が少なく粒子が小さくなるのではないかと思われる転作大豆と若干遅れ気味だという秋どりのキヌサヤが想定される。花について金木町花卉研究会で価格の変動が少ないカスミノウを今盛んに進め

ている状況でこれをぜがひにでも進めていきたい。」

◎住民基本台帳について

「住民台帳基本法が始まってテレビ、新聞等でトラブルが起きていると報道されているが金木町ではトラブル等はあるのか。カード申し込み件数はどのくらいになっているのか。またこれからの取り組みはどうなっているのか知りた

◎賽の河原の町営墓地について

「町営墓地の今現在の数と空き数はどのくらいになっているのか。墓地の清掃管理はどのようになっているのか知りたい。景観美化のためにも行事期間中にゴミ箱などを設置する考えはないのか。」

【答弁】

◆町民課長

「八月十五日から稼働した住民基本台帳ネットワークシステムは現在までトラブルはありません。カードの発行件数は今日現在五件です。現在のカードは身分を証明する機能しかありませんがやがてこれが印鑑証明とか水道代、バスポート等に近い将来利用できる予定でそうなるかと考えています。墓地的に進むものと考えています。墓地公園の概要は自由墓地百二十五カ所に規制墓地二百九十二カ所で計四百十七カ所、うち平成十四年度造成分六十七カ所を募集し申し込みと予約をあわせて二十カ所で

現在残り四十七カ所となっている。清掃は春の彼岸、盆、賽の河原の大祭、秋の彼岸の前後四回清掃している。以前から町の公共施設等ではゴミの持ち帰りを促していることから墓地公園においても供物やゴミの持ち帰りを看板等でお願いしているが徹底してないため広報等でこの啓蒙を強化していきたい。」

◎防災計画の取り組みについて

「町の防災訓練はどのような方法で行われ今年は何回行われたのか。小・中学校の訓練はどのようなになっているのか。いつ災害が起きてもおかしくない今現在なので総合的な町民全体の防災訓練を実施する考えはないのか。」

【答弁】

◆鳴海町長

「昨年川端町の大雨災害の後公民館と役場を主会場に消防団、消防署、役場関係百五十人体制で防災訓練を行っており今年も引き続き災害が発生したとき戸惑うことなく迅速に体制が組めるような訓練を予定している。また小・中学校に保育所と幼稚園、一般町民も入れたらばよりよい防災訓練になると思うので今年は無理でも合併前に向って常任委員会とも検討しぜひ実行するように進めていきたい。」

◎道路整備について

「山道町の県道は冬場になると非

常に道路が狭くなり乗用車やバスのすれ違いに苦労しており町内会の人たちも融雪溝の早期設置を希望していることからこの取り組みについて聞きたい。」

【答弁】

◆鳴海町長

「確かに山道町も非常に狭い道路で融雪溝設置が可能な場所だと思うので財政の件もあるが早急に検討してみたい。」

向けて非常に厳しい財政、特に道路関係は厳しい環境であるが会議がある都度主張し通年通行できるように意見を述べていきたい。」

◆建設課長

「山道町の融雪溝について山道町地区は県道屏風山内真部線になっており県の方に昨年九月県道、国道関係八路線への融雪溝設置要望した中の一カ所に入っている。」

可 決 事 項

- 【議案第36号】平成15年度金木町一般会計補正予算(第3号)案
- 【議案第37号】平成15年度金木町介護保険特別会計補正予算(第2号)案
- 【議案第38号】平成15年度水道事業会計補正予算(第2号)案
- 【議案第39号】平成15年度金木町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案
- 【議案第40号】青森県市町村職員退職手当組合同約の一部を変更する規約案
- 【議案第41号】人権擁護委員の推薦の件
- 【議案第42号】平成14年度金木町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第43号】平成14年度金木町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第44号】平成14年度金木町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第45号】平成14年度金木町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第46号】平成14年度金木町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 【議案第47号】平成14年度金木町水道事業会計収入支出決算の認定を求めるの件
- 【報告第16号】平成14年度金木町土地開発公社決算の提出の件
- 【議員発議第4号】義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(案)

金木病院カルテ No.211

『死の四重奏』 (内臓脂肪症候群)



内科
小林 孝男

死の四重奏

◆肥満

◆高脂血症

◆高血圧

◆糖尿病

糖尿病と高血圧、高中性脂肪血症、肥満(特に、内臓に脂肪が蓄積する内臓脂肪型肥満)は合併することが多く、それぞれ軽度でも互いに関連し合い動脈硬化を進展します。このような状態は、脳梗塞や脳出血、心筋梗塞などを起す危険性が高く、「死の四重奏」といわれています。さらにこれに煙草を加え「死の五重奏」ということもありま

また、まだこれらの「危険因子」を持つていない人は日々の食生活を改善することや、適度な運動を行うこと、ストレスなどをため込まないことなどに注意を払い、いつまでも「危険因子ゼロ」を目指しましょう。

この死の四重奏の一つ一つを一個の「危険因子」とすると、その保有数によって脳梗塞や、脳出血、心筋梗塞などの起こり易さが異なってくる

例えば、心筋梗塞などの虚血性心疾患の場合では、危険因子を一つも持たない人に比べて、一つだけ持つ人では五倍以上起しやすいとされ、危険因子を三〜四個持つ人に至っては、なんと心筋梗塞などを起す危険性が三十五倍以上になるといわれています。脳梗塞や脳出血などに関しても同じようなことがいえます。

例えば、高血圧で糖尿病を合併している人が、特に自覚症状がないからといって治療せずに放っておくと、近い将来どれだけ命に関わるような、寝たきりになってしまいうような病気にかかってしまう危険性が高いのか、おわかりいただけたいと思います。すでに、これらの「危険因子」を持つている人は、きちんと治療を行い一つでもその数を減らすように努力しましょう。

また、まだこれらの「危険因子」を持つていない人は日々の食生活を改善することや、適度な運動を行うこと、ストレスなどをため込まないことなどに注意を払い、いつまでも「危険因子ゼロ」を目指しましょう。

以下に、それぞれの「危険因子」のチェックポイントをあげておきます。

肥満度チェック

肥満度を知る方法として、BMI(ボディ・マス・インデックス)があります。

BMI

体重(kg) ÷ [(身長(m) × 身長(m))]

例) 体重が75kg、身長が1.7mの人では
 $75 \div [(1.7) \times (1.7)] = 25.95$

や	普通	18.5	~25
や	普通	18.5 ≤	~30
肥	肥	25 ≤	~35
肥	肥	30 ≤	~40
肥	肥	35 ≤	~40
肥	肥	40 ≤	~40

これまでの疫学的調査で、BMIが22のとき最も病気が少なく、それ以上でも以下でも病気が増えていることがわかっていきます。理想といわれる標準体重

は、BMIが22のときの体重で次の式で求められます。

★標準体重

身長(m) × 身長(m) × 22

高血圧危険因子チェック

高血圧を放っておくと、動脈硬化が進んで血液の流れが悪くなったり、血栓ができやすくなったり、場合によっては命に関わる場合があります。

血圧が高めな人は、塩分のとり過ぎに注意して、血圧の上昇を抑制する成分を含んだ豆類や海藻類、緑黄色野菜、青魚などを十分摂取するとよいでしょう。

★こんな人は注意!

- ・塩分のとり過ぎ
- ・運動不足
- ・肥満気味
- ・お酒を頻りに飲みすぎる
- ・タバコを吸う
- ・ストレスが多い

高脂血症危険因子チェック

コレステロールや中性脂肪の値が高くなる原因は、食生活、運動不足、体質などいくつかあり、次のような人は値が高くなる傾向にあります。

★こんな人は注意!

- ・卵やレバー、イカなどのコレステロールの多い魚介類が好き

・食べる量が多く、カロリーオーバーになりがち

・揚げ物や、脂肪分の多い肉類などたくさん食べる

・野菜や海藻類、キノコ類の摂取が少ない

・朝食を抜いたり、食事時間が不規則だったりする

・運動不足

・肥満気味

・ストレスが多い

糖尿病危険因子チェック

ほとんどの糖尿病は、加齢や遺伝による体質だけでなく、生活習慣が大きく影響しています。血糖値を高くする次の要因に気をつけましょう

- ・「こんな人は注意!」
- ・ついつい過食してしまう
- ・運動不足
- ・肥満気味
- ・ストレスが多い
- ・お酒の飲みすぎ
- ・家系の中に糖尿病の人がいる
- ・妊娠をきっかけに糖尿病になる女性も

*参考文献

『生活習慣病の医と食の祭典』別冊NHKきょうの健康
《NHK出版》

戸籍の窓

10月届出分

おめでとう

藤井 ツル (90才) 金木

白石 蓮 (卓也) 金木

今 ヤエ (94才) 嘉瀬

原田 匠 (高志) 金木

其田 義春 (78才) 川倉

高原 吹優 (幸雄) 金木

今 義雄 (66才) 喜良市

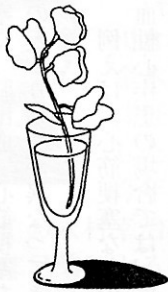
おしあわせに

今 亨 (武光) 喜良市

松田 さゆり (瑞穂) 栃木県

齊藤 宏樹 (稔) 嘉瀬

藤本 弥生 (信彌) 金木



おくやみ

国民年金情報

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

保険料を納め忘れたままにしておくと、将来受け取る老齢基礎年金が受けられなくなったり、減額となる場合があるほか、けがや病気で万が一のことが起きた時に障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

青森社会保険事務局・社会保険事務所では、皆様の大切な年金権を守るため、次のような取り組みをしております。

●戸別訪問による納付のご案内

身分証明書を持った国民年金推進員がみなさまのご自宅にお伺いし、国民年金保険料納付のご案内や保険料領収のほか、制度や届出などのご相談もお受けしております。

●電話による納付のご案内

保険料を納め忘れるなどで、未納になっている方に国民年金保険料についてのご案内を行っています。

いずれも夜間・休日にも行っておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

保険料の納入は忘れずに！



青森県国民年金マスコットキャラクター「アップーくん」

伝言板

◎届いています

◆十月十二日

カギ (ストラップ付)
三味線会館駐車場

◆十月二十七日

グローブ (茶色)
運動公園内

◆十月三十一日

手さげ袋 (黒地花柄模様)
郵便局駐車場
心当たりの方は金木警察署
署話し物係まで

このコーナーを利用したい方は企画観光課まで

人口と世帯

	10月末現在	前年同月比
男	5,548人	△ 71人
女	6,196人	△ 50人
計	11,744人	△ 121人
世帯数	4,080	20